

別紙 1

平安時代						
最澄：日本天台宗の開祖である僧侶。						
紀貫之：『古今和歌集』の選者や『土佐日記』の著者として知られる歌人。						
紫式部：世界最古の長編小説とされる『源氏物語』を執筆した作家。						
清少納言：鋭い観察眼で宮廷生活を描いた随筆『枕草子』の作者。						
鎌倉時代・南北朝時代						
北条政子：源頼朝の死後、「尼將軍」として幕府の実権を握り支えた女性。						
北条義時：鎌倉幕府第2代執権として、幕府の支配体制を確立させた。						
北条時宗：モンゴル帝国の襲来（元寇）という国難を退けた第8代執権。						
楠木正成：後醍醐天皇に尽くし、優れた軍略で足利尊氏らと戦った武将。						
戦国・安土桃山時代						
武田信玄：甲斐の虎と恐れられ、上杉謙信と川中島の合戦を繰り広げた名将。						
織田信長：既存の秩序を破壊し、天下統一への道筋をつけた戦国の革命児。						
豊臣秀吉：百姓から天下人にまで上り詰め、日本を統一した「戦国一の出世頭」。						
徳川家康：江戸幕府を開き、260年余り続く泰平の世の礎を築いた。						
千利休：織田信長や豊臣秀吉に仕え、茶道（わび茶）を完成させた茶聖。						
淀君：豊臣秀吉の側室であり、秀頼の母として豊臣家の最期を見届けた。						
江戸時代						
徳川家光：参勤交代の制度化などを行い、幕藩体制を盤石にした第3代将軍。						
徳川吉宗：享保の改革を断行し、幕府の財政を立て直した「米将軍」。						
宮本武蔵：二刀流を用いる「二天一流」を編み出し、生涯無敗とされる伝説の剣豪。						
平賀源内：エレキテルの紹介や土用の丑の日の提唱など、多方面で活躍した奇才。						
杉田玄白：オランダの医学書を翻訳して『解体新書』を出版し、蘭学の発展に貢献した。						
伊能忠敬：50歳を過ぎてから測量を学び、日本全国を歩いて正確な日本地図を作製した。						
二宮尊徳：独自の思想「報徳仕法」により、多くの農村を復興させた。						
吉田松陰：松下村塾で明治維新の原動力となる多くの逸材を育てた思想家。						
幕末・明治時代						
坂本龍馬：薩長同盟の仲介や大政奉還の構想など、日本の近代化に奔走した。						
勝海舟：江戸無血開城を実現させ、江戸の街を戦火から救った幕臣。						
西郷隆盛：明治維新の最大の功労者の一人で、誠実な人柄で多くの人に慕われた。						
高杉晋作：奇兵隊を組織して長州藩を倒幕へと動かした、早世の革命家。						
木戸孝允：薩長同盟や版籍奉還などの重要施策を推進した、維新の三傑の一人。						
大久保利通：内務卿として中央集権的な近代国家の基盤を築き上げた。						
明治天皇：近代国家へと生まれ変わった日本を象徴する天皇。						
岩倉具視：岩倉使節団の全権大使として欧米を視察し、不平等条約の改正に努めた。						
伊藤博文：日本の初代内閣総理大臣を務め、大日本帝国憲法の制定を主導した。						
板垣退助：自由民権運動の指導者として、国会の開設を訴えた政治家。						
大隈重信：早稲田大学を創設し、内閣総理大臣も務めた教育者・政治家。						
山県有朋：日本陸軍の父と呼ばれ、官僚機構の確立にも携わった権力者。						
桂太郎：日露戦争時の首相であり、通算在職日数が歴代屈指の政治家。						